



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場会社名 株式会社三社電機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6882 URL https://www.sansha.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 元
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部 部長 (氏名) 丸山 博之 TEL 06-6321-0321
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	12,904	21.2	307	△28.1	252	△41.6	134	△58.1
2022年3月期第2四半期	10,643	19.6	427	—	432	—	321	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 707百万円 (75.6%) 2022年3月期第2四半期 402百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	10.46	—
2022年3月期第2四半期	22.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	27,876	20,298	72.8	1,579.95
2022年3月期	27,146	19,810	73.0	1,541.90

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 20,298百万円 2022年3月期 19,810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	8.00	—	17.00	25.00
2023年3月期	—	8.00			
2023年3月期（予想）			—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 当社は定款において3月31日又は9月30日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。（「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照）

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	14.7	1,600	21.5	1,600	21.8	1,200	4.6	93.40

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	14,950,000株	2022年3月期	14,950,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,102,122株	2022年3月期	2,102,122株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	12,847,878株	2022年3月期2Q	14,047,878株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な予想数値と異なる場合があります。

(2) 2023年3月期の期末配当予想につきましては、現時点で未定のため開示しておりません。配当予想を決定しましたら速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波による感染者数が増加したものの、並行して行動制限の緩和、経済活動の正常化への動きがさらに進みました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の影響に伴う原油価格をはじめとした原材料価格の高騰や欧米諸国の金利の引き上げによる為替変動など、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの事業を取り巻く環境は、受注は堅調に推移しているものの、依然として原材料の調達に時間を要し、素材やエネルギー価格の高騰・運送コストの高騰などが収益を圧迫する状況となりました。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画「CG23」（2022年3月期～2024年3月期）の2年目として、新エネルギー分野での貢献領域を拡大できるようなプロジェクト体制で新たな市場の開拓に注力してまいりました。一方、ものづくりの安定化を目指し計画しておりました合理化・自動化に向けた設備投資は、納期遅延の影響を受けておりますが、引き続き中期経営計画に基づく重点施策を着実に進めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は129億4百万円（前年同期比21.2%増加）となり、営業利益は3億7百万円（前年同期比28.1%減少）、経常利益は2億5千2百万円（前年同期比41.6%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億3千4百万円（前年同期比58.1%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(a) 半導体事業

当事業におきましては、当社グループの主力市場である中国はロックダウンによる経済活動の停滞などの影響を受けて減収となりました。一方、国内向けおよび欧州向けは前年同期比で増収となりました。主力のパワーモジュールでは主に汎用インバータ、溶接機向けが堅調に推移したほか、チップの販売も前年同期比で増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、40億9千2百万円（前年同期比2.0%増加）となりました。セグメント利益は増収や円安などの増収要因はありましたが、材料費や電気料金の高騰などが利益を圧迫し、2億6百万円（前年同期比29.9%減少）となりました。

(b) 電源機器事業

当事業におきましては、素材加工分野（銅箔生成、アルミエッチング）での販売などにより一般産業用電源が大きく伸長するとともに、データセンター・パソコン等で用いる電子部品の表面処理用電源の需要が堅調で、当該分野での販売を伸ばいたしました。また、小型電源も需要回復が顕著で前年同期比で大きく増収となりました。一方、生産面では原材料（半導体、電子部品、樹脂成型品等）の調達難が継続していることから生産が遅延するという課題が継続しています。

以上の結果、当セグメントの売上高は、88億1千1百万円（前年同期比32.9%増加）となりました。セグメント利益は増収とはなったものの原材料の高騰や円安が利益の圧迫要因となり、1億円（前年同期比24.3%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ7億2千9百万円増加し、278億7千6百万円となりました。これは主に電子記録債権が4億2千5百万円、原材料及び貯蔵品が3億6千万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ2億4千1百万円増加し、75億7千7百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が2億4千4百万円、未払金が3千3百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ4億8千8百万円増加し、202億9千8百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が5億7千4百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の連結業績予想につきましては、2022年5月10日に公表いたしました2023年3月期連結業績予想値を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,026	4,665
受取手形	838	778
売掛金	6,364	6,012
電子記録債権	1,242	1,667
商品及び製品	2,634	2,985
仕掛品	1,591	1,837
原材料及び貯蔵品	2,618	2,979
その他	562	673
貸倒引当金	△59	△35
流動資産合計	20,819	21,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,866	1,754
機械装置及び運搬具（純額）	517	426
土地	2,238	2,238
リース資産（純額）	295	261
建設仮勘定	79	138
その他（純額）	262	262
有形固定資産合計	5,259	5,082
無形固定資産		
のれん	28	25
その他	114	113
無形固定資産合計	143	138
投資その他の資産		
投資有価証券	24	25
繰延税金資産	255	283
退職給付に係る資産	508	551
その他	135	229
投資その他の資産合計	924	1,089
固定資産合計	6,326	6,310
資産合計	27,146	27,876

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,470	3,715
電子記録債務	337	306
未払金	913	946
未払費用	609	624
未払法人税等	195	228
契約負債	388	322
賞与引当金	565	595
製品保証引当金	57	52
受注損失引当金	40	175
その他	326	198
流動負債合計	6,905	7,164
固定負債		
リース債務	101	100
未払役員退職慰労金	68	68
繰延税金負債	161	131
退職給付に係る負債	52	56
その他	48	55
固定負債合計	431	412
負債合計	7,336	7,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,774	2,774
資本剰余金	2,698	2,698
利益剰余金	15,226	15,142
自己株式	△1,903	△1,903
株主資本合計	18,795	18,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	7
為替換算調整勘定	901	1,476
退職給付に係る調整累計額	107	103
その他の包括利益累計額合計	1,014	1,587
純資産合計	19,810	20,298
負債純資産合計	27,146	27,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	10,643	12,904
売上原価	8,197	10,344
売上総利益	2,446	2,559
販売費及び一般管理費	2,018	2,252
営業利益	427	307
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	1	0
受取賃貸料	7	7
デリバティブ評価益	—	61
その他	11	22
営業外収益合計	23	98
営業外費用		
支払利息	2	2
デリバティブ評価損	1	—
為替差損	14	150
その他	0	0
営業外費用合計	19	153
経常利益	432	252
税金等調整前四半期純利益	432	252
法人税、住民税及び事業税	91	169
法人税等調整額	19	△51
法人税等合計	111	118
四半期純利益	321	134
親会社株主に帰属する四半期純利益	321	134

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	321	134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	1
為替換算調整勘定	99	574
退職給付に係る調整額	△17	△3
その他の包括利益合計	81	572
四半期包括利益	402	707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	402	707

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	432	252
減価償却費	467	432
のれん償却額	31	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△25
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12	25
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	4	△5
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	20	135
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△26	△47
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	0	4
受取利息及び受取配当金	△3	△7
支払利息	2	2
売上債権の増減額 (△は増加)	412	238
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△482	△745
仕入債務の増減額 (△は減少)	684	42
未払費用の増減額 (△は減少)	△28	9
未払役員退職慰労金の増減額 (△は減少)	△388	—
その他	△282	△140
小計	850	171
利息及び配当金の受取額	3	7
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△103	△139
営業活動によるキャッシュ・フロー	748	37
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△150	△312
有形及び無形固定資産の売却による収入	1	1
無形固定資産の取得による支出	△6	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155	△336
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△55	△53
配当金の支払額	△140	△218
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195	△271
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	210
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	428	△360
現金及び現金同等物の期首残高	5,870	5,026
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,299	4,665

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

現在までの新型コロナウイルス感染症拡大による、取引先の設備投資の延期、更新の見合わせなどが、当社グループの業績に影響を与えておりますが、新型コロナウイルス感染症による新たな企業活動の重要な制限がないという仮定のもと、固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	4,012	6,631	10,643	—	10,643
外部顧客への売上高	4,012	6,631	10,643	—	10,643
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,012	6,631	10,643	—	10,643
セグメント利益	294	133	427	—	427

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	4,092	8,811	12,904	—	12,904
外部顧客への売上高	4,092	8,811	12,904	—	12,904
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,092	8,811	12,904	—	12,904
セグメント利益	206	100	307	—	307

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。